

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)~(8)は必ず記入してください。(9)~(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1)担当支部:	福井支部	(2)記載者氏名:	井上 泰利	会員番号:	10996	事務局整理記入欄	福井-6
分水嶺区分	W141栗柄峠~W143大御影山~W141栗柄峠~大谷山分岐		(3)山行日:	2004年	4月	25日	(4)天候 晴

(5)参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

井上 泰利	10996	大和 康郎	13872				
田路 繁男	13086	中山 勇	一般参加				
立川 義秋	13864	田路フサ子	一般参加				
岸本 トシエ	13871						
計			7名	計			名

(6)山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:	栗柄峠~分水嶺尾根~W144の分岐~W143(大御影山)~W144に戻り林道歩き栗柄峠帰着~大谷山方面の分水嶺わ一部踏												
アプローチ:	各自車に分乗し7時頃自宅出発し栗柄峠付近駐車場に8時着												
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	所要 時間	出発 時刻	道の 状況	(8)~(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	林道駐車場		135	59	38.1	35	29	32.8	588				
分水嶺到達点W141	栗柄峠		135	59	34.1	35	29	28.6	575	0:08		アスファル	1, 2, 6
W142	滝谷山分岐点		135	58	51.7	35	29	11.3	851	1:10		B-1	1, 3, 4, 5
W143	大御影山		135	58	19.9	35	30	1.6	949	0:55		A-1	4
分水嶺離別点W142	滝谷山分岐点		135	58	51.7	35	29	11.3	851	0:35		A-1	4
	原山林道に到達		135	58	53.2	35	28	58.8	815	0:15		A-1	4
分水嶺到達点W141	栗柄峠		135	59	34.1	35	29	28.6	575	0:55		林道	6
	山栗の標識		135	59	45.5	35	29	23.0	711	0:22		B-2	1, 4
分水嶺離別点	大谷山登山道分岐		135	59	51.1	35	29	29.8	738	0:08		B-1	4
歩行終了点	林道駐車場		135	59	38.1	35	29	32.8	588	0:12		A-1	4
総歩行時間(休憩時間を除く):												4時間40分	

(7)三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを 記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項
W143	野呂尾	3	西35度	良	山名:大御影山

(8)人工施設の現況および地形図との相違点

1.当初地図上では県境が分水嶺と考えていたが、福井県の耳川の勢力が強くて分水嶺を滋賀県側に押し出していた。その為県境尾根より滋賀県側に1本入った尾根が分水嶺と考えられる。又、人工の林道工事の盛り土により本来なら福井県側に流れる水が滋賀県側に道の下の土管により流されており分水嶺が複雑な形になっていた。只、地図で見ると明らかに滋賀県側の位置に福井県美浜町の特定地籍の名の標識が掛かっており、場合によっては地図の県境表示が間違っているのかも知れない。
2.ポイントW141の名称を栗柄峠としたが、正式名は不明(福井県側の林道は栗柄林道と通称されている)

(9)水および植生に関連した特記事項

3.栗柄峠より大御影山に登り始めの左側は杉の人工林・右側は自然林
4.ぶな等の自然林
5.昔の人が仕事等で歩いたのか、よく踏み込まれた跡がある。

(10)その他の特記事項

6.福井県側の林道に比べて滋賀県側の林道の整備が悪い。又福井県から滋賀県へ入る2つの林道口の内、1ヶ所には鎖での施錠施設が施されており、本日は開放されていた。他の1ヶ所は鎖での施錠の為に鉄パイプ埋設場所の掘削の最中であった。前者の林道施錠箇所は原山林道と表示あり。後者も同じ林道かは不明。
--

(11)写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明: